

明野地域まちづくりビジョン 概要

1. 地域まちづくりビジョンとは

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口減少が予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を平成29年5月に設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域の将来像として「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、明野地域ビジョン会議で取りまとめた「明野地域まちづくりビジョン」について、大分市長に提言いたします。

2. 明野地域まちづくりビジョンの概要

	地域まちづくりビジョンとは	第3章 人口推移と将来推計
	第1章 地域の特徴	1 大分市の人口推移と将来推計
	1 地理的特性	2 明野地域の人口推移と将来推計
	2 地域の歩み	3 大分市の人口ビジョン
	第2章 地域の現状	第4章 地域の現状分析
	1 土地利用の状況	わたしたちの住む地域について(SWOT分析)
2 地域内の施設	第5章 地域の目指すべき姿(将来像)	
3 指定避難所・福祉避難所等	明野地域の将来像	
4 市民との協働によるまちづくりの取組	第6章 将来像の実現に向けた取組	
5 まちづくりコミュニティ	1 これからのまちづくりに向けた市長への提言	
6 明野三大大行事	2 提言に基づく取組一覧	

地域ビジョン会議の中では、明野地域の将来に向けた魅力・課題の整理を行い、地域のさらなる発展のために、地域の目指すべき姿(将来像)を設定し、その実現に向けた取組の提案を行いました。

3. 地域の将来に向けた魅力・課題

明野地域が誇る魅力

1. 立地やインフラなど充実した生活環境
2. 恵まれた自然環境
3. 充実した教育環境

明野地域が抱える課題

1. 地域の歴史・伝統・風習がない
2. 高齢化に伴う社会問題
3. 通学路の安全対策

4. 明野地域の将来像(コンセプト)

ひとが創るひとが安心ふるさと明野そして未来

将来像への思い

今後、少子高齢化がさらに進展し、本市の人口も減少が予測される中、福祉など市民の身近な施策の充実や地域コミュニティの活性化、効率的な行政運営など諸課題への対応が求められています。

このような中、「明野地域ビジョン会議」において、地域の魅力の向上や課題解決に向けた取組を検討し、地域のさらなる発展のために、地域の目指すべき姿(将来像)を表現しています。

5. これからのまちづくりに向けた市長への提言

今後、わたしたち市民が描く地域の将来像の実現に向けて、これからのまちづくりに重要となる取組について提言します。

提言1: 多世代が交流する地域コミュニティの新構築を

明野地域のこれまでのコミュニティ形成においては、恵まれた生活環境と職縁の役割が大きかったが、時代の変遷とともに変化する生活様式や価値観に対応できる新しい地域ネットワークが必要である。隣人の顔が見えるふれあいを積み重ね、多世代が交流する地域コミュニティの新構築への行動が求められている。

提言2: 明野を総合防災拠点に

安心して暮らせるまちを実現するためには、地域が一体となった防災・防犯対策が不可欠である。幹線道路や公園などインフラの骨格が充実した立地特性を生かし、災害避難時を想定した道路整備等のハード面からご近所の安否伝達等のソフト面まで、まちづくりの知恵を持ち寄り、地域防災を研究・実施する大分市の総合的な防災拠点となることが望まれる。

提言3: 新しい試みと魅力の発信を

新産業都市企業群を支える新興団地起工から50年、ゆとりある住まいは生活者の利便性だけでなく、生産活動の一翼をも担っている。そのような明野には、新しい住まい方を提案する住環境整備、多世代交流を推進する施設整備、利用実態に即した公園整備など、新しい試みのモデル地区として、その魅力の発信が必要である。

提言4: 多様な文化活動の広がりや深まりの推進を

明野地域の三大大行事(大体育祭、明野まつり、芸能祭)は住民交流の場として定着し、地域の融和や団結への期待は今も大きい。交流による出会いは、人と人をつなぎ、まちへの愛着と文化をはぐみ、次代の担い手育成の契機となる。交流文化の灯が絶えぬよう、多様な文化活動の広がりや深まりを推進したい。

明野地域まちづくりビジョン 概要

6. 提言に基づく取組一覧

地域ビジョン会議では、前段の提言に基づき、今後取り組むものについての検討を行いました。(13取組)

番号	取組名	概要	備考
1	コミュニティ新構築のための多世代交流	高齢者の技能や技術、知識の継承、さらには生きがいづくりや居場所づくりの解決を図るために、多様な組織や人材が活動する拠点施設が必要である。建設の際には、支所の配置、在り方について検討した上で、支所を核施設に図書館や各種交流施設、研修施設等を複合した「多世代交流プラザ」を建設する。	提言1
2	明野を総合防災拠点に	明野は地理的、地勢的にも優位性にあることから、防災訓練機能を備えた拠点施設を主とし、子ども科学館を併設した複合的な施設を建設する。	提言2
3	幹線道路整備と歩道の改良	<ul style="list-style-type: none"> 慢性的な交通渋滞解消のため、庄の原佐野線の早期延伸と、それに先行する大分臼杵線の4車線化を要望する。 松岡日岡線の交差点改良、沿線の用途地域変更による地域商業の活性化を推進する。 団地内の美化とともに災害発生時と交通安全を見込んだ無電柱化と、歩道のバリアフリー化を図る。 	提言2
4	公園・緑地の整備と利活用	<ul style="list-style-type: none"> 公園が日常的な交流の場となるよう、マルシェやフリーマーケット、市民農園を開く。 スポーツ利用のゾーンは憩いのゾーンとは別に、効果的な整備ができるようにする。アクティビティ器具を導入し、多世代に魅力ある運動遊びを提示する。 	提言3
5	防犯のための環境設計	社会状況の変化によって、防犯や交通安全の機能が相対的に低下してきている。子どもの見守り活動の実施、危険な場所の点検や改善など、防犯性の高いまちとなるよう環境設計を行う。	提言2

番号	取組名	概要	備考
6	コミュニティバスの運行などの公共交通網の整備	事業者、医療・福祉機関、自治会、行政の協働でコミュニティバスの運行を行うなど、さまざまな方法により公共交通の整備を検討する。	提言3
7	多様な世代に対応した住宅の供給	老朽化した公営住宅が再建の段階にきている。多様なニーズに対応できる住宅を供給するために、高層化やエレベータをつけるなど改良が望まれる。	提言3
8	地域のつながり強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりを強化するため、コミュニティ・スクールの導入に向け、地域、中学校、小学校、家庭の連携を深める。 子ども同士および子どもを介したコミュニティの新構築を図り、ライフステージに応じた地域での役割を用意する。 	提言1
9	ふるさと意識の醸成	近年では、小学生への明野音頭の指導を行っており、ふるさと意識を醸成していく良い機会ととらえている。子どもたちのふるさとへの関心を深め、地域活動への参加意識を高める。	提言1
10	地域グループの創生と次世代のリーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活力を継続的に発揮するには、子育て世代が地域活動に関わるのが最良のエネルギーであることから、横のつながりをつくり上げ、地域グループによる積極的な活動を行う。 他地域と比べ青年層の就業者が多いことから、地域行事に積極的に参加するよう働きかけ、次世代のリーダーとして育成する。 	提言1
11	自治会区域の再検討	都市内分権を進める上では、自治会区域の再検討が必要である。円滑な運営、きめ細かな世話活動のために、実態を考慮し可能な限り規模の均等化を行う。	提言1
12	高齢者を支えるネットワークの構築	高齢者を地域でお互いに見守り・支え合うネットワークを構築し、豊かな地域福祉を実現する。	提言1
13	明野ブランドの創生	住民の交流と融和、生活のしやすさや教育環境、明野らしい文化・アート活動を地域の価値として、明野が誇る地域ブランド・イメージを強化する。	提言4